2026 年 11 月

安全就業ニュース

知立市シルバー人材センター
安全適正就業委員長　青山幸夫

１．全国シルバー人材センター重篤事故報告　令和８年９月分報告

９月は、就業中２件、就業途上２件の事故報告がありました。（一部抜粋）

No.	性別・年齢	仕事の内容	事故の状況
1	男性 73 歳	就業中 （入院）	三脚に乗って剪定作業中、バランスを崩して墜落。頸椎椎体を骨折した。保護帽着用。安全帯未着用。
2	男性 77 歳	就業中 （入院）	雑木の枝打ち作業が終了し脚立から降りようとしたところバランスを崩し顔面から落下した。保護帽、安全帯未着用。頸椎骨折。
3	男性 72 歳	就業途上 （入院）	カート整理業務終了し、徒歩で帰宅中、台風接近に伴う降雨があり、路面がぬれている状況で、鉄製のグレーチング（排水溝の蓋）の上で足を滑らせて転倒し左大腿骨を骨折した。
4	女性 71 歳	就業途上 （入院）	就業現場へ自転車で向かう途中、自転車のタイヤが溝にはまり、バランスを崩して転倒。下肢（左）骨折。

２．知立市シルバー人材センター事故報告　令和８年９月、１０月分報告

９月は、就業中の事故報告が１件ありました。
10 月は、事故はありませんでした。

No.	性別・年齢	仕事の内容	事故の状況
1	女性 82 歳	就業中 （傷害）	施設の屋内清掃中、２階に上がるため階段を上がっていたところ２段目でバランスを崩し転倒した。転倒の際に臀部及び後頭部を床に打った。出血があったため救急搬送され診察の結果、頭部創傷、尾てい骨骨折。

「朝晩の気温差で体がだるく感じる…」→【寒暖差による疲労対策】

① 耳たぶの少し上を水平方向に引っ張る
② 上下に動かす
　　１分程度　➡　自律神経を整える効果が期待



〈全国統一　安全就業スローガン〉「声掛けは　仲間を守る　いのち綱」